

Suma Tomogaoka通信

兵庫県立須磨友が丘高等学校 総合学科推進部
令和8年 第2号 7月17日発行

教育実習生に聞く

5月25日から3週間の実習を終えました。学習活動だけでなく、文化祭への取り組みに参加するなど貴重な経験が出来たことと思います。実習生の皆さんに須磨友が丘での学びがその後の学生生活にどのような影響があったかを振り返ってもらいました。

■ 須磨友が丘高校で経験したことが、大学に進学してからどのように生かされていますか？ また、今だからこそ分かる、高校時代に取り組んでおくべきこと等について、後輩へメッセージをお願いします。

- ・「産業社会と人間」や「課題研究」での学びが、自分自身を見つめ直す機会になり、今自分が何をしたいのか、何に興味があるのかを知ることができ、大学選択や将来の夢を決めるキッカケになりました。普通科と違い、自分自身を見つめ直せる機会が多いので、この大事な時期に自分について考えてみて、興味のあることを見つけ出してほしいです。
- ・先を見通す力がついたことで、社会人になる前に大学生活でしておいた方がよいことを考えられるようになりました。部活に熱中していた高校生活で、それも楽しかったですが、もっと学校生活を楽しんでおけば良かったと感じています。コロナ禍で文化祭等が満足にできなかった部分があるので、今の高校生には思いっきり楽しんでほしいです。
- ・課題研究は、大学でのゼミ活動に生かされています。大学ではゼミ全体にテーマがあり、それについて、ゼミ生全員で考え、計測し、まとめる機会が多くあります。高校時代に「自分で考えて行動する力」を身につけられたことは大きかったと感じています。勉強だけでなく、部活動や学校行事などにも積極的に取り組み、今しかない時間を大切にしてほしいです。
- ・高校時代に経験した「自分で考えて選択する学び」は大学生活でも大きく生かされています。特に「産社」や「課研」で、自分でテーマを決めて調べたり発表したりする経験は、大学でのレポート作成や授業発表につながっています。高校時代に取り組んでおくべきことは、自分の興味のある分野に積極的に参加することです。総合学科ならではの「自分次第で学びを広げられる」環境を活かして後悔のないように「とりあえずやってみる」という姿勢でいろんなことにチャレンジしてみてください。みんなの様々な挑戦を応援しています！



回答・協力していただいた教育実習生のみなさん

1年次「産業社会と人間」職業人講演会

5月22日（金）、「職業人に話を聞こう！」と題して12名の講師の方をお招きし、お話を聞かせていただきました。その職業に就くことになったきっかけや仕事の内容、仕事をする中で感じるやりがい等について詳しくお話を聞かせていただくことができました。生徒は事前学習として行ったR-CAPの分析結果から得られた適性をもとに、今回の講演会で話を聞く職業を選択しました。新しい視点での職業観にも触れることができ、これから自分の未来に向き合い職業を選択するための大きなきっかけとなったようでした。

—講師の先生方のご職業—

宮大工、海苔漁師、助産師、鍼灸師、ヨガ講師、音声・音楽制作、公園デザイナー、
薬膳師、パン屋、金属工芸（ジュエリーデザイナー）、テレビ局員、農業

《生徒の感想》

- ・私も将来はやりがいを感じたり自分の好きを生かせる仕事に就きたいと思った
- ・「働くとは何か」ということについても深く知れたので、世の中にある仕事についてもっと知って、誰かに幸せを届けられる人になれたらいいなと思いました
- ・これから進路を考えるためのすごく貴重な時間になりました



公園デザイナー



鍼灸師



音声・音楽制作

1 年次「産業社会と人間」学問分野別講演会

5 月 29 日 (金)、20 の大学や専門学校から先生方をお招きし、学問分野別講演会を行いました。各分野において学ぶことができる内容や大学卒業後の就職先などについて詳しくお話いただき、生徒にとってはこれから迎える自分自身の進路選択に向き合うためのきっかけとなる貴重な時間となったようでした。

《生徒の感想》

- ・心理・社会福祉学のお話を聞いて、福祉とは何かを考えるきっかけになりました。これまで調べてきた中で、直接援助を主に職業として考えていて、間接援助は存在しか知らなくて、今回のお話を聞いて興味を持ちました。特に「公正と平等」「自立の考え方」が自分にはない新しい発見で学びになりました。この経験を、自分の将来の選択に活かしたいです。
- ・経営学は起業したい人だけが学ぶものではなく、社会全体を見ることのできる力をつけられる学問だと知り、もっと学んでみたいと思いました。
- ・将来のことがもっと詳しく考えられるように、自分でやりたいことを見つけたり、必要なことを考えて勉強し続けていけたらいいなと思います。夢に向かって努力できるようにこれから頑張ります。



各学問分野別講演会の様子

1 年次「産業社会と人間」プレゼンテーション講演会

6 月 19 日 (金)、神戸芸術工科大学より大嶋優希子先生をお招きし、プレゼンテーション講演会を行いました。相手に伝わりやすいスライドを作成するために、デザインの視点から情報を整理する技術を分かりやすくご教授いただきました。良いスライドと悪いスライドを比較してどのような点を工夫するべきかを体感し、より聞き手に伝わるようにするためにはどのようにするべきか、多くのことを学んだ様子でした。これから発表をする機会が幾度もありますが、今日学んだことを意識して相手に伝わる発表を実践してほしいと思います。

《生徒の感想》

- ・これまでは、伝えたい情報をすべてスライドに詰め込むことが良いと思っていたこともありましたが、しかし、文字や色の多すぎる悪い例との比較を通して、それでは聞き手にとって見にくく、大切なことが伝わらないと気づきました。
- ・今回学んだ「ルールを決める」ということを意識して、相手に伝わる良い発表をしていきたいです。
- ・聞き手によって時間配分を変えたり、文字の数や大きさを工夫したり、使う色に統一感を出したりなど細かいところまでこだわって作ることで、聞く側の理解度が全く違うと思いました。
- ・これからプレゼンテーションをする場面では、相手の立場になって必要な情報の選択、伝え方を考えてより良いものにしていきたい。

2 年次 課題研究 I 「テーマ研究・研究計画書の作成・研究計画発表会」

ゴールデンウィーク明けから、各系列・ゼミごとの活動が始まりました。12 人のメンバーによる自己紹介、1 年間の計画の説明、ゼミ担当の先生からのガイダンスが行われたあと、研究テーマを改めて練り直すステップとして、自分の興味や関心の幅を広げるための「キーワードリスト」の作成や、新聞記事を活用したグループワーク、リサーチクエスト設定に向けた個別面談などが行われました。6 月には「研究計画書」の作成に取りかかり、7 月の期末考査後には、各自が今後の研究計画についてゼミ内発表を行いました。この発表で得たフィードバックをもとに、研究計画をさらにブラッシュアップし、夏休み中に実施する調査内容を具体化できるようにしてください。

夏休み期間中は、課題研究を大きく進展させる期間です。先行研究や関連書籍のリサーチ、関係機関へのインタビュー、アンケート調査、実験・制作など、各自のテーマに応じて積極的に取り組んでください。また、副教材『中高生からの論文入門』（講談社現代新書、小笠原喜康・片岡則夫著）も再度手に取り、ヒントを得るのもよいでしょう。きっと悩みを解決する助けになるはずです。休み明けの「研究経過報告会」では、ゼミの仲間が驚くような成果を持ち寄ってくれることを期待しています。



ゼミ内において研究計画をスライドを使って発表

2 学期当初の授業予定（変更の場合あり）

9/ 3(木)	全体指導@セミナールーム	夏休みの研究成果の確認、2 学期の活動について説明。
9/ 7(月)	ゼミ内で研究経過報告①	(発表 3 ～ 5 分 + 質疑応答)
9/10(木)	ゼミ内で研究経過報告②	(発表 3 ～ 5 分 + 質疑応答) ゼミ代表の選出 (各ゼミで 3 名)
9/14(月)	データの整理・分析・考察	代表者は発表の準備を進める
9/17(木)	データの整理・分析・考察	代表者は発表の準備を進める
9/28(月) (体育大会予備日)	データの整理・分析・考察	代表者は発表の準備を進める
10/ 5(月) 6・7 限目	【全体中間発表会】	系列ごとに分かれて実施 (10 グループを予定) 。 代表者が発表し、外部講師の先生方から講評をいただく。

3 年次 総合的な探究の時間 「課題研究」の集大成

ゼミ内発表・全体発表会・課研ふり回り

4 月から新ゼミに分かれ「課題研究Ⅱ」に取り組んだ3 年生全員が6 月に、これまでの研究をプレゼンスライドにまとめ、「ゼミ内発表」しました。系列を混ぜた新たなメンバーのゼミでの研究発表は、新鮮でお互いに興味を刺激し合うことができたようでした。相互評価によってゼミから代表者が選出され、7 月8 日と13 日に、下記の22 名が「全体発表会」で発表をしました。「全体発表会」直前まで、研究の見直しやスライドの手直しを行い、見ごたえのある6 分半のプレゼンテーションに仕上げていました。

また、「課題研究」各ゼミでの最後の時間に、「ふり回り」を行いました。1 年以上にわたり、取り組んできた「課題研究」は、①自らがテーマを決定し、②課題を見つけ、③自らの考えで解決を図り、④成果をまとめ、他者に伝える活動でした。この試行錯誤の連続から気づいたことや得たことは各々の中の種であり、芽であり、育ち続ける気持ちの原点となるのではないかと感じます。

【全体発表会出場者】22 名

No.	名前	タイトル	系列	2年次	3年次
3436	山口 紗耶	災害時にペットの命を守るために ～マイクロチップ義務化から考える～	地域環境	櫻木ゼミ	櫻木ゼミ
3238	渡辺 陽菜	環境に配慮した化粧品を身近に	人文社会	平山ゼミ	森川ゼミ
3607	柏木 蓮成	須磨海岸のカサゴは季節によって食性が変わるのか	地域環境	櫻木ゼミ	八色ゼミ
3515	新谷 美羽	私たちの故郷が歩んだ道 ～交通と街道の関係から考える～	人文社会	平山ゼミ	折野ゼミ
3519	塚原 冬晴	副菜によって改善するももとリンゴのアレルギー症状	生活保育	小林ゼミ	小出ゼミ
3532	舟崎 綾乃	グミ好きによるグミの研究～高齢者グミ開発に向けて～	生活保育	澤田ゼミ	松下ゼミ
3532	竹内 和花	日本人向け「分かる発音記号」	国際文化	橋爪ゼミ	島津ゼミ
3622	岩崎 心春	心地よさどこにある？ ～それぞれに合った究極の散歩コースとは～	地域環境	櫻木ゼミ	前橋ゼミ
3304	山地 徹平	文化によって変わる手話	国際文化	橋爪ゼミ	田中ゼミ
3336	西山 智晴	垂水区の坂の活用法 ～ウォーキング×観光で垂水区をにぎやかに～	地域環境	寺尾ゼミ	内門ゼミ
3428	柴田 芽依	愛犬の健康寿命を食事で延ばす	医療健康	折野ゼミ	折野ゼミ
3504	上野 紗来	ミニトマトが受けた作物被害と糖度の関係性	生活保育	小林ゼミ	小林ゼミ
3230	御手洗彩花	神戸市の違法駐輪問題～違法駐車をなくすには～	地域環境	寺尾ゼミ	松下ゼミ
3614	小村 優芽	祖母の認知症を食い止めるには	生活保育	前橋ゼミ	樋渡ゼミ
3320	長背 広翔	無信号横断歩道の優先権の立場逆転から考えるドライバーの意識改革について	人文社会	垣脇ゼミ	安室ゼミ
3311	國貞 梢	ドラマ視聴率に現れる社会 ～「いじめ・障害」作品と歴代ヒット作の比較分析～	人文社会	垣脇ゼミ	梅谷ゼミ
3633	溝井 亮太	ロシアリクガメの色覚と嗅覚 ～色と匂いを識別できるのか～	地域環境	櫻木ゼミ	櫻木ゼミ
3126	福林 佑斗	筋運動感覚残効現象で記録向上	医療健康	坂口ゼミ	松本ゼミ
3317	清水 葵	“違和感”はどこから？カラコンと背景知識の関係	国際文化	橋爪ゼミ	安室ゼミ
3112	押川 詩奈	姿勢と集中力の関係性	医療健康	坂口ゼミ	梅谷ゼミ
3624	坪田 優莉	カメの学習能力	地域環境	松下ゼミ	島津ゼミ
3405	岩崎 心美	虫歯予防の歯磨き絵本の研究	生活保育	小林ゼミ	八色ゼミ



《代表生徒の感想》

「発表を終えて」

・今日は今までで一番緊張しましたが、その分一番達成感を味わうことができました。前日には先生や友人に練習をお願いし、多くのアドバイスをいただきました。そのアドバイスをもとに、何度も原稿を書き直し、時間配分も繰り返し調整しました。本番では、自分の番が来るまで他の人の発表を見ていましたが、スライドの構成や話し方がとても上手で、不安な気持ちになりました。しかし、「話すスピード」「抑揚をつけて話すこと」を意識して発表することができました。練習をたくさん行ったおかげで堂々と自信を持って話すこともでき、『練習して良かった』と達成感を感じ、『楽しかった』と思える時間になりました。終了後には先生方や友人からたくさん褒めていただき、とても嬉しく、大きな自信にもつながりました。また、テーマ設定から今日の発表まで、多くの方々の支えや協力があつたからこそ、課題研究をやり遂げることができたと思います。改めて周りの方々へ感謝の気持ちを強く感じました。研究内容だけでなくプレゼンテーションの仕方やスライドの作り方、アンケートやインタビューの実施など将来につながる多くの貴重な学びを得ることができました。「伝える楽しさ」を忘れず、今後に生かしていきたいです。(竹内和花)

・代表に選ばれたときは、とても嬉しい気持ちと同時に、これまで取り組んできた課題研究が認められたという達成感が込み上げました。発表に向けて何度も内容や話し方を見直したことで、人に分かりやすく伝える力やプレゼンテーション力も発表を通して以前より身に付いたと感じました。また、私の研究は、愛犬のために始めましたが、発表を重ねながら、犬を飼っている家庭の多さや、健康への関心の高まりに気づき、多くの人に役立つテーマでもあると気づくことができました。今回、代表として発表の機会をいただいたことで、自分の研究をさらに深く見つめ直すことができただけでなく、多くの人に伝えることの楽しさや難しさも実感しました。(柴田芽依)